

# 事業報告書及び決算書類

平成23年度

平成23年4月1日から

平成23年8月31日まで

公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団

# 事業報告

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 8 月 31 日

## 【Ⅰ】基本方針

余暇時間の増大、高齢化の進行など社会環境の変化は、人々の生活様式にも急激な変化をもたらし、国民の健康に関する意識の向上と共に、スポーツに寄せる関心は益々高まりを見せています。

このような情勢下、スポーツ科学の振興を目的とする当財団ではこの期待に応えるべく、改めて事業の重要性を認識し、事業活動の推進を図ってまいりました。

まず、健康の増進と体力向上及びスポーツに関連する学術研究の助成事業では、財団選定テーマによる研究委託並びに研究課題公募による研究助成を引き続き実施いたしました。

一方、財団法人日本体育協会への助成を行い、国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与するとともに、財団法人日本オリンピック委員会に対しても、オリンピック事業の推進並びにトップレベルの選手育成・強化を目的として同様の助成を行います。また、スポーツ科学の国際交流推進を目的として日本体力医学会へ助成を行います。

なお、平成 22 年度の事業成果を広く関係者に公表するため、機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.32 を発行いたしました。

## 【Ⅱ】事業報告

(1)健康の増進と体力の向上及びスポーツ関連科学に関する研究委託並びに調査・研究に対する助成。

### 1)研究委託（2 件 200 万円）

学術委員会・選考委員会において審議の結果、下記 2 件を選定し、本年度委託研究テーマとして研究を委託いたしました。

#### ① 「有酸素運動トレーニングによる

インスリン抵抗性の改善とアディポサイトカインの関連  
-運動トレーニングで血中アディポネクチンは増加するか?-」

福岡大学

田中 宏暁

#### ② 「スポーツ衣料と繊維機能化との融合」

信州大学

大口 正勝

### 2)自由課題研究（総額 800 万円）

全国にわたる 117 の大学または、その他の学校、研究機関より応募された 180 件の課題の中から学術委員会・選考委員会の審査の結果、下記 16 件に対し助成を行いました。

●優秀入選（各 50 万円）

- ①「持久性運動トレーニングが脳血流動態及び脳循環調節機能に及ぼす影響」  
東洋大学 小河 繁彦
- ②「胸郭圧迫が運動時の呼吸・循環応答、  
筋酸素動態およびパフォーマンスに及ぼす影響」  
名古屋大学 石田 浩司
- ③「義足スプリンターにおける“バネ”の左右脚差に関する研究」  
国立障害者リハビリテーションセンター研究所 保原 浩明
- ④「発汗に依存しない熱中症予防を目的としたスポーツウェアの開発と検証」  
福岡大学 飛奈 卓郎
- ⑤「温熱的快適性を向上させた換気機構付きの革靴の開発」  
横浜国立大学 薩本 弥生
- ⑥「血流制限を併用した筋力トレーニング  
：性差を考慮した至適プロトコルの確立」  
北翔大学 沖田 孝一
- ⑦「剣道着における素材とデザインが  
衣服内気候と皮膚摩擦、パフォーマンスに及ぼす影響」  
文化女子大学 佐藤真理子
- ⑧「運動トレーニングが自然免疫におよぼす影響」  
和洋女子大学 北村 裕美
- ⑨「片手・両手切り替え駆動型の競技用車椅子の開発と評価」  
長岡技術科学大学 塩野谷 明
- ⑩「加圧ストッキングが“低血圧に伴う女性のめまい”に及ぼす影響」  
愛知医科大学 谷川 徹
- ⑪「高齢者の認知機能および脳の機能・構造に影響を及ぼす  
日常的な身体活動強度に関する検討」  
東京電機大学 木村 憲
- ⑫「運動疲労時における神経基盤の系統的検討」  
大阪市立大学 田中 雅彰
- ⑬「温熱処置と伸張性運動を組み合わせたトレーニングが  
筋痛・筋損傷に及ぼす影響」  
順天堂大学 佐賀 典生
- ⑭「高速水着のアシテッド練習用具としての可能性」  
筑波大学 富川 理充
- ⑮「スポーツウェアの材質・機能の違いが  
非常負荷運動時の生理応答に与える影響」  
広島工業大学 西村 一樹
- ⑯「高齢者の日常身体活動とメタボリックシンドロームの罹患率との関係  
—加速度計を用いた10年間の縦断研究—」  
東京都健康長寿医療センター 朴 晟鎮

○選考委員（順不同、敬称略）

佐藤 祐造	馬詰 良樹	加賀谷 淳子
梶原 莞爾	川原 貴	島崎 恒蔵
下村 吉治	下光 輝一	田中 宏暁
田村 照子	永富 良一	中島 利誠
西松 豊典	西村 太良	平田 耕造
広田 孝子	福永 哲夫	藤本 繁夫
宮本 武明	吉岡 利忠	

○助成金交付 平成 23 年 7 月

(2)機関誌の発行

平成 22 年度の事業内容を公表するため第 32 回研究成果報告書を中心とする「デサントスポーツ科学」Vol.32 を本年 6 月に発行し広く研究機関関係者に公表致しました。

(3)スポーツの施設・用具・衣服に関する学術的資料の収集、保存及び公開、本財団の事業推進に関し必要と思われる学術的資料の収集を図るため、日本体力医学会、社団法人繊維学会、社団法人日本繊維製品消費科学会等に対し賛助を行いました。

【Ⅲ】活動報告

(1)公益財団法人最初の評議員選定委員会の開催

日時：平成 23 年 4 月 25 日（月）

場所：OFFICE SHINOHARA

第 1 号議案 議長選出の件

第 2 号議案 最初の評議員選任の件

(2)臨時理事会・評議員会（書面）の開催

日時：平成 23 年 5 月 20 日（金）

報告事項 公益財団法人の最初の評議員選定委員会結果報告の件

第 1 号議案 公益財団法人への移行申請承認の件

第 2 号議案 公益財団法人への移行のための定款変更案承認の件

第 3 号議案 公益財団法人の設立の登記後の役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規定（案）承認の件

第 4 号議案 公益財団法人の設立の登記後最初の理事・監事選任の件

第 5 号議案 公益財団法人の設立の登記後最初の特別顧問選任の件

(3)電子申請手続きにより公益財団法人移行認定申請

平成 23 年 5 月 25 日（水）

(4)機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.32 発行  
平成 23 年 6 月

(5)第 33 回定時総会及び助成金目録贈呈式

日時： 平成 23 年 6 月 2 日（木）

11:30～11:45 理事会・評議員会

11:45～12:30 助成金目録贈呈式

12:30～13:30 懇 親 会

場所： 株式会社 デサント 東京オフィス

第 1 号議案 平成 22 年度事業報告書承認の件

第 2 号議案 平成 22 年度収支決算書承認の件

第 3 号議案 任期満了に伴う理事・監事・評議員選任の件

(6)第 33 回学術研究委託及び自由課題学術研究助成金交付

平成 23 年 7 月 25 日

(7)内閣総理大臣より公益財団法人として認定を受ける

平成 23 年 8 月 29 日

以上

## 貸借対照表

平成23年8月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,111,123	15,010,102	△ 6,898,979
その他	0	155,556	△ 155,556
流動資産合計	8,111,123	15,165,658	△ 7,054,535
2. 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	1,128,892,859	576,137,150	552,755,709
基本財産合計	1,128,892,859	576,137,150	552,755,709
固定資産合計	1,128,892,859	576,137,150	552,755,709
資産合計	1,137,003,982	591,302,808	545,701,174
II 負債の部	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本金	1,128,892,859	576,137,150	552,755,709
指定正味財産合計	1,128,892,859	576,137,150	552,755,709
(うち基本財産への充当額)	(1,1128,892,859)	(576,137,150)	(552,755,709)
2. 一般正味財産	8,111,123	15,165,658	△ 7,054,535
正味財産合計	1,137,003,982	591,302,808	545,701,174
負債及び正味財産合計	1,137,003,982	591,302,808	545,701,174

## 正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成23年8月31日まで

科目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 基本財産運用益	
基本財産受取利息	2,341,934
基本財産受取配当金	10,659,201
基本財産運用益計	13,001,135
② 寄附金収入	
寄附金収入	0
寄附金収入計	0
③ 雑収益	
受取利息	1,183
雑収益	157
雑収益計	1,340
経常収益計	13,002,475
(2) 経常費用	
① 事業費	
委託研究費	2,000,000
助成金支出	8,000,000
寄附金支出	0
資料収集調査費	725,000
印刷製本費	4,981,043
事業費計	15,706,043
② 管理費	
支払報酬	2,127,504
会議費	1,283,083
旅費交通費	862,850
通信運搬費	42,120
雑費	35,410
管理費計	4,350,967
経常費用計	20,057,010
当期経常増減額	△ 7,054,535
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,054,535
一般正味財産期首残高	15,165,658
一般正味財産期末残高	8,111,123
II 指定正味財産増減の部	
基本財産評価益	552,755,709
当期指定正味財産増減額	552,755,709
指定正味財産期首残高	576,137,150
指定正味財産期末残高	1,128,892,859
III 正味財産期末残高	1,137,003,982

**財 産 目 録**  
平成23年8月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
普通預金 三井住友銀行船場支店	4,541,132		
普通預金 北國銀行大阪支店	3,569,991		
現金預金合計	8,111,123		
流動資産合計		8,111,123	
2. 固定資産			
基本財産			
投資有価証券 スウェーデン地方金融公社債	100,000,000		
ノルウェー輸出金融公社債	200,000,000		
ロイズTSBバンク（ユーロ円債）	100,000,000		
利付国庫債券(10年)第238回	100,000,000		
株式会社デザート株式1,522,743株(時価413円)	628,892,859		
基本財産合計	1,128,892,859		
固定資産合計		1,128,892,859	
資産合計			1,137,003,982
II 負債の部			
負債合計			0
正味財産			1,137,003,982



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

投資有価証券については、移動平均法による原価法によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	576,137,150	552,755,709		1,128,892,859
合 計	576,137,150	552,755,709	0	1,128,892,859

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	1,128,892,859	1,128,892,859	0	0
合 計	1,128,892,859	1,128,892,859	0	0

### 4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
投資有価証券			
スウェーデン地方金融公社債	100,000,000	79,000,000	△ 21,000,000
ノルウェー輸出金融公社債	200,000,000	179,480,000	△ 20,520,000
ロイズTSBバンク(ユーロ円債)	100,000,000	94,990,000	△ 5,010,000
利付国庫債券(10年)第238回	100,000,000	100,710,000	710,000
合 計	500,000,000	454,180,000	△ 45,820,000